

「2014 文化で滋賀を元気に！賞」受賞者について

文化・経済フォーラム滋賀では、文化で滋賀を明るく元気にし、活力あふれる地域社会の実現に貢献している団体または個人に対して、感謝と今後の活動を期待して、2011 年から「文化で滋賀を元気に！賞」を設け、表彰しています。

4 回目となる「2014 文化で滋賀を元気に！賞」には、県下各地の、地域を元気にする活動をされている団体・個人から、34 件の推薦応募をいただきました。

選考委員会による慎重審査の結果、大賞をはじめ6件(1個人、5団体)が受賞されました。

(講評執筆：「2014 文化で滋賀を元気に！賞」選考委員会)

【表彰概要】

■表彰の種類

(1) 文化で滋賀を元気に！各賞

文化で滋賀を明るく元気にし、活力あふれる地域社会の実現に貢献している団体または個人(若干名)

(2) 文化で滋賀を元気に！大賞

(1)の受賞候補者のうち最も評価された団体または個人(1名)

(3) 各賞の名称は、推薦者からの提案に基づき決定

■表彰式

平成 27 年 2 月 11 日(水・祝)15:10～ 琵琶湖ホテル「瑠璃」(3 階)

※受賞者には表彰状と彫刻家(成安造形大学名誉教授)富樫実氏の制作によるトロフィーを贈呈します。

■募集期間

平成 26 年 8 月 28 日(木)～平成 26 年 10 月 31 日(金)

■候補者の推薦

募集期間内に推薦書を文化・経済フォーラム滋賀事務局に提出。自薦、他薦は問わない。

■選考

12 月 11 日(木) 6名の委員からなる選考委員会で審査を行い、大賞・各賞を決定。

選考委員 木村 至宏 (成安造形大学附属近江学研究所長) 石丸 正運 (美術史家)
岸野 洋 (公益財団法人滋賀県文化振興事業団理事長) 中村 順一 (行政経験者)
南 千勢子 (ピアニスト) 饗場 貴子 (大津市教育委員)

大 賞 (絵本でまちおこし文化賞)



「こども自然体験遊び塾」



「ブックスタートサポーター養成講座」

NPO法人絵本による街づくりの会 / 高島市

里山や絵本を愛する人々に対して読書や絵本の素晴らしさを実感してもらい取り組みを行い、青少年の健全な育成や新しい街づくりに寄与している。

絵本のある交流スペース「かめの部屋」、マキノの里山の豊かな自然に触れる「子ども自然体験遊び塾」など、絵本から広がる「出会い」「体験」「感動」を合言葉にさまざまな事業を高島市を中心に継続的に実施している。

「絵本は子どもが最初に出会う芸術」と着目し、湖西に活動の拠点となる絵本美術館を設立することを大目標に掲げ、地道な活動を継続的に実行し、少子化の中で絵本を通じて、地域の子どもの情操を豊かにする試みは大いに評価できる。

<代表者：平松成美>

問合せ 事務局 (電話 080-3802-8157)

プロフィール

2004年 NPO法人設立
2005年 松居友「ほのおのとり」絵本原画展
金尾恵子絵本原画展、講演会
(以降、絵本原画展をほぼ毎年開催)
2008年 ブックスタートサポーター養成講座開講
2009年 絵本のある交流スペース「かめの部屋」
事業開始
2011年 東日本大震災被災地に全国から集まった
絵本を届ける。
その他、おはなしのデリバリー、こども自然体験遊
び塾、手作り絵本講座、湖西民話倶楽部を継続し
て実施。他、さまざまな共催・協力事業に参画して
いる。



JAZZと一緒にまち歩き文化賞

大津ジャズフェスティバル実行委員会 / 大津市

「JAZZと一緒に町歩き」をコンセプトに、有志のボランティアで結成する実行委員会による手作りのフェスティバル。2009年にゼロから立ち上げ、資金を市民からの募金・グッズ売上げ・出演者の参加協力金等でまかない、誰もが気軽に参加できる雰囲気をつくっている。琵琶湖岸を会場に年々観客を増やし、地域の企業や団体からの支持も得るなど、さまざまな団体と活動を広げて、地域の魅力を発信していることが大いに評価される。

＜委員長：吉田耕司＞

問合せ 事務局(「パーンの笛」内) (電話 090-6558-0598)



滋賀から世界へ挑戦文化賞

寺村 邦子 氏 / 彦根市

寺村邦子氏は1989年に「ピアノ111台による同時演奏」を提案し、ギネス世界記録を取得後、次々とギネス世界記録に挑戦している。2007年から毎年彦根市内で挑戦し、9個のギネス世界記録を樹立した。また、長年公立学校で音楽講師として児童・生徒を指導し、1990年から開催した住民参加による「まなつの音楽祭」は、地域に定着。ギネス挑戦に幼児から高齢者までの幅広い参加者と県内企業の協力も得るなど、地域を巻き込んだ積極的な活動が大いに評価される。

問合せ 寺村邦子 (電話 090-5152-3918)



演劇でまちづくり文化賞

栗東演劇祭実行委員会 / 栗東市

～演劇がつなぐ人とひと～をテーマに、「りっとう演劇祭」を開催している(平成5年より21回開催)。「飛びだす演劇祭」や人材育成のためのワークショップも実施して、誰もが気軽に楽しみ参加できる、演劇文化が地域全体へ根付く取り組みを継続している。地域コミュニティの再生や地域への愛着心の醸成、文化芸術に対する意識の底上げを目指し、県内の多くの劇団とも関わり、演劇を通して地域の人たちがつながる取り組みは大いに評価される。

＜委員長：前山茂治＞

問合せ 事務局(松崎) (電話 090-8533-9451)



地域に学ぶ文化賞

成安造形大学地域連携推進センター / 大津市

基本理念「芸術による社会への貢献」のため、「結ぶ・つなげる・広げる」プロジェクトを展開。学生のスキルアップ、連携先の発展、地域社会全体の活性化という成安版「三方よし」を日々実践。大津祭曳山連盟公式キャラクター「ちま吉」プロデュース、滋賀県環境政策課「びわこの日」ポスターデザイン、大津歴史博物館夏休みおもちゃづくりワークショップなど、学生たちが地域に学びながら活動するプロジェクトは年間80件に及び、その実績と可能性は大いに評価される。

＜学長：牛尾郁夫＞

問合せ 事務局 (電話 077-574-2118)



絆の灯火文化賞

「石塔町ペットボトルイルミネーション」東近江市石塔町・明るい町づくり(阿育(あしょか)の子育成会) / 東近江市

2003年「地域の子どもは地域で見守ろう」と結成された阿育の子育成会の活動の一環として「もったいないを地域で活かしたい」とはじめたイルミネーションは12年目を迎える。他府県からも多くの人々が訪れ、冬の風物詩となっている。ペットボトルの洗浄分類を子どもたちと楽しみながら作業し、「物を大切に再利用する心」を伝えるとともに、デザインから制作・設置・運営を地区の住民で行い、地域の大人も子どもも顔見知りになる場となる取り組みは大いに評価される。

＜代表：中野雅夫＞